

7. 縦隔腫瘍

○

○:専門とするがん △:グループ指定により対応しているがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり △:グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×:なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年の実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容		
									治療内容	治療実績	医師の 専門 分野
1	呼吸器外科	5	5	状況 ○ 実績 あり	×	×	良性腫瘍に対しては、胸腔鏡を用いて低侵襲手術を行っている。また、周辺臓器への浸潤を認める悪性腫瘍まで化学療法放射線療法など集学的治療を行い根治術を行っている。	ア 大阪医科大学外科学講座胸部外科学教室 http://www.osaka-med.ac.jp/dens/the/intro/kokyu/index.html イ http://	掲載あり	掲載なし	掲載あり
2	呼吸器内科	6	2	状況 × 実績 なし	○	○		ア http:// イ http://			
3				状況 実績				ア http:// イ http://			
4				状況 実績				ア http:// イ http://			
5				状況 実績				ア http:// イ http://			

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
---	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 胸腺腫 胸腺腫
------------------------------------	---------------